

女性のためのつながり支援事業の内容と利用者実績・今後の計画

総務部人権男女共同参画課

【TAKARAZUKA すみれウィメンズプロジェクト概要】

1 生理用品配布事業

事業内容 経済的理由により生理用品が困難な「生理の貧困」が広がっていることから、生理用品の購入にお困りの18歳から22歳の女性を中心に生理用品を無償で配布した。その際には、各種相談窓口の案内を同封することで、行政支援へのつながりをサポートした。

配布期間 令和3年（2021年）8月1日～令和4年（2022年）1月31日

配布個数 460 パック

配布方法 「希望先への送付」もしくは「宝塚市立男女共同参画センターでの受け取り」を選択

周知方法 市広報誌、ウィズたからづか、市内掲示板、ホームページ、SNS（twitter、Facebook、LINE）、近隣大学へ案内、関連部署への案内等。

（アンケート結果より）

年齢

18歳未満	49人
18歳～19歳	122人
20歳～22歳	113人
23歳以上	176人
計	460人

生理用品の配布を希望する理由（複数回答可）

アルバイトのシフトが減り、自身の収入が減少した	158
アルバイトを解雇され、自身の収入が減少した	17
家族の収入が減少した	87
体調不良で働けない	9
その他	157
無回答	62

2 女性のための相談事業

- 事業内容 新型コロナウイルス感染症の拡大により、外出自粛や休業、学校の休校等によるストレス、雇用や子育てやDV等、様々な不安を抱えている女性のための電話相談。従来から行っている女性のための電話相談の拡充。
- 実施期間 令和3年（2021年）9月1日～令和4年（2022年）3月31日
毎週月、水、金曜日 17：00～21：00（年末年始12月29日～1月3日を除く）
- 相談内容 人間関係、家族間の問題、ご近所トラブル等。
- 実績 9月1件、10月2件、11月3件、12月0件、1月4件

3 居場所づくり事業

- 事業内容 不安を抱える女性が安心できる環境で人と出会い、話し、つながることで、自分らしさを取り戻せる居場所を提供することを目的に、同じ対象の方が集まり、各回3回のワークショップと1回の個別面談を行った。
- 実施期間 令和3年（2021年）10月～令和4年（2022年）3月

実績

	対象	参加人数
第1回	シングル女性	5人
第2回	シングルマザー	2人
第3回	非正規雇用の女性	19人
第4回	専業主婦	17人
第5回	高齢女性	実施中

4 令和4年度実施予定事業概要

長引くコロナ禍で困難を抱える女性を支援する「TAKARAZUKA すみれウィメンズプロジェクト」を地域女性活躍推進交付金を活用し、引き続き実施します。

- 事業内容 ①SNSを活用した各種女性のための支援事業等の周知
②様々な悩みを抱える女性を支援するため、弁護士等による相談会の実施
③悩みを抱える女性が集い、悩みや不安を語り合う居場所づくり